

おおいた事業承継・引継ぎシンポジウム 2026

地域を守る、事業承継の自走化

～行政・支援機関・金融機関が連携し、地域で企業を残す仕組みを考える～

日 時

令和8年9月16日（水）
13:30～16:00（開場13:00）

会 場

J:COMホルトホール大分
2 F セミナールーム

参 加 費

無 料
定員 50名（先着順）

開催にあたって

県内の中小企業は、地域の雇用・商流・生活機能・技術を支える基盤です。経営者の高齢化や担い手不足、人口減少などを背景に、相談につながらないまま事業承継が先送りされ休廃業に至ると、その影響は一社にとどまらず地域全体の活力低下につながります。

本シンポジウムは、事業承継を「個社の後継者問題」ではなく地域経営課題として捉え、経営者への早期の働きかけ、承継の選択肢の可視化、専門支援へつなぐ中間支援機能を通じて、支援機関がつながり、企業が動き、地域で支える「自走化」の進め方を、関係機関とともに具体的に考える場です。

こんな方におすすめ

- 県内の中小企業・小規模事業者の経営者
- 後継者候補（親族・役員・従業員・アトツギ候補）
- 第三者承継に関心のある起業希望者・譲受検討者
- 自治体・商工団体・金融機関・士業等の支援担当者
- 掘り起こし・相談対応・機関連携を担う実務担当者
- 地域企業の持続的発展に関心を持つ関係者

13:30
13:40

開会・趣旨説明

「地域を守るため、なぜ今『事業承継における地域の自走化』なのか」

13:40
14:30

基調講演

「地域企業の未来を誰が支えるのか－サイレント退出と経営者の将来期待から考える事業承継支援－」

講師：愛知大学経済学部 教授 打田 委千弘 氏

休憩（10分）

14:40
15:20

パネルディスカッション

「相談を待たない事業承継支援－誰が気づき、誰がつなぎ、地域でどう支えるか－」

商工団体・金融機関・士業・自治体・センター等の視点から、承継課題、声かけ、トスアップの判断、専門支援へのつなぎ方、承継後の経営改善、情報共有と振り返りを議論（質疑応答含む）。

15:30
16:00

4 機関連携による施策説明

当センター・よろず支援拠点・中小企業活性化協議会・信用保証協会が制度を紹介。「どの課題を、どの段階で、どの機関へつなぐか」を、翌日から使える相談導線として整理。

登壇者・コーディネーター

基調講演・コーディネーター：愛知大学経済学部 教授 打田 委千弘 氏

パネリスト：別府市観光・産業部 課長補佐 魚返 将和 氏、豊和銀行ソリューション支援部 部長 首藤 大吾 氏
(有)アオバヤスポーツ 代表取締役 後藤かおり 氏

お申し込み・お問い合わせ

参加無料



スマホで左の二次元バーコードを読み込んで、必要事項を入力するだけで、簡単に申込みます！

お電話での申込みは、
☎ 097-585-5010 へ

【申込締切】
令和8年9月9日（水）

まずは身近な支援機関・センターへご相談を



地域に必要な事業・雇用・技術・商流を次世代へ。早期のご相談が、円滑な承継への第一歩です。